



～「はじめの一步」にどう寄り添うか～

今回は、各学校で奮闘する新任者にスポットを当てた内容です。教師としてスタートを切り、4カ月が過ぎようとしています。今、どんな表情をしておられるでしょうか。日々の忙しさに疲れきった表情でしょうか、それとも子どもたちと共に笑顔で過ごし、充実感に満ちた表情でしょうか。

新任者の先生方の思いや悩み、そして日々の歩みに思いを巡らせながら、お読みいただければと思います。



「新任者は学校の宝です!」



この言葉は、昨年、ある学校を訪問した際に教頭先生から伺ったものです。新任者の先生の様子を語られるその表情からは、経験の浅さをどう埋めるかではなく、これから伸びていく力や可能性を大切に育てていこうとする、学校全体の温かい思いが伝わってきました。

新任者のみなさんの成長は、個人の成長にとどまらず、教職員同士が学び合う学校文化を育み、よりよい学校づくりにもつながっていきます。

そのような成長と学び合う学校づくりを後押しするために、西部教育事務所では、「新任者サポート」や「新任者アクティブサポート」を実施しています。



新任者サポート

1回目の新任者サポートが終了しました。授業参観、面談を通して、じっくりと話をさせていただく中で、「こんな授業にしたい」「子どもたちがいるから頑張る」という前向きな思いが伝わってきました。一方で、様々な悩みを抱えている現状も見えてきました。

「校務分掌や行事等で何をすればよいのか分からない」



「聞きたいことがあるが、迷惑にならないかが気になり、聞くことができない」

「他の先生の朝の会や帰りの会を知りたい」



こんな声を聴いていると、何気ない声掛けが新任者の先生の安心感につながることを改めて感じます。



新任者アクティブサポート

北部支所では、新任者のみなさんの研究授業を参観しています。教科、道徳、特別活動とさまざまな授業を実践されており、授業後の研究協議会では、校内の先生方の温かい助言、そして拍手が印象的でした。

研究授業は大きな挑戦の場です。これからも応援しています。



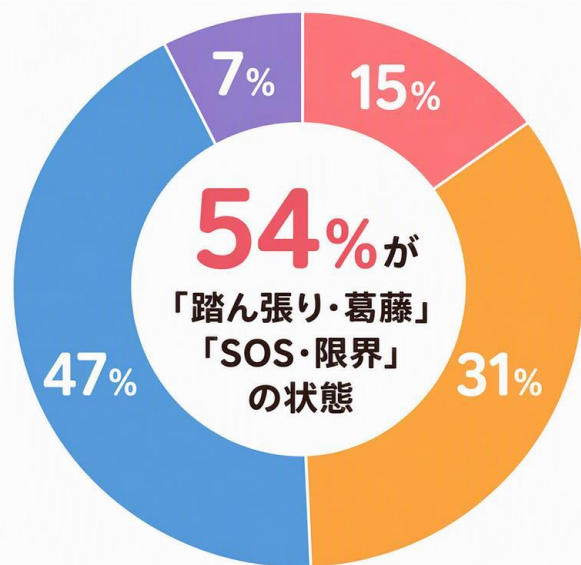
写真: 生成AIにより作成

※新任者サポート(西部)、新任者アクティブサポート(北部支所)は、今後も各学校の御要望に応じて実施します。お気軽に声をお寄せください。

アンケートから見える現状と支援のヒント

【初任者の現状】

初任者研修でのアンケート集計結果（北部支所を除く）です。「やる気バロメーター」を見ると、前向きに勤務しながらも不安や悩みを抱えている現状が見えてきました。



やる気満タン
15%

「子どもたちと関わる毎日が楽しい」「夢だった教師の道に進んでいるのでうれしい」

やや充実
31%

「充実しているが、長く続けるために、あえて8割の力を意識している」

踏ん張り・葛藤
47%

「やる気はあるが、体力が追いつかない」「このままで大丈夫だろうかと不安に思う」

SOS・限界
7%

「月曜日に行きたくない」「余裕がなく、家でも何も手につかない」

【初任者がぶつかる「悩みの壁」】

※人数は延べ人数（複数回答あり）

順位	悩みの壁	人数	主な内容
1位	授業づくり・教材研究	86人	・説明しても生徒の反応がない ・授業にメリハリがつけられない ・教材研究やワークシート作成が大変
2位	学級経営・集団づくり	43人	・「話を聞く」ルールが徹底できない ・ルールが定着しない ・児童生徒との信頼関係づくりに不安がある
3位	業務多忙・時間不足	25人	・休憩が取れず、トイレに行く時間がない ・授業準備や校務で時間が足りない
4位	生徒指導・トラブル対応	19人	・問題行動やトラブル対応に追われる ・不登校傾向や心のケアへの不安がある
5位	保護者対応・外部連携	8人	・保護者対応へのプレッシャーを感じる ・外部機関との連携や連絡調整の負担が大きい

【はじめの一步に寄り添うために】

①「休憩取れてる？」

体調や気持ちを気にかけるだけで安心につながります。

体調や気持ちを気にかけていただけたら、相談しやすくなります。

具体的な支援や共有が、明日からの授業の見通しがもてます。

②「授業のコツを教えるよ」

具体的な支援や共有が、明日からの自信につながります。

③「失敗しても大丈夫」

失敗を受け止める言葉が、挑戦を応援する力になります。

🌿 あなたの一言が、初任者の「はじめの一步」を支えます 🌿